

2022 (令和4年) 10月

National Institution For Youth Education 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

体験の風をおこそう

# まち新聞 子ども街新聞

主催・発行 特定非営利活動法人 ミラクルウィッシュ <https://mwish2014.link/>  
協力 一般社団法人 codomotoままちっち <https://codomoto.jp>  
後援 三田市、三田市教育委員会

## くらしがべんりになる?! スマートシティ推進課

三田市役所の「スマートシティ推進課」取材するとくらしが便利になる秘密がいっぱい!! その中の3つをわかりやすくまとめました。その秘密とはいったい?!

### 三田市役所を 子ども記者が取材!

2022年8月、三田市で初の子ども記者プロジェクトが実施され、12名の子どもの記者が三田市役所を取材しました!

#### contents

- P1 スマートシティ推進課
- P2 里山のまちづくり課
- P3 交通まちづくり課
- P4 まちのブランド観光課



▲藍市民センター入り口に設置されたボックスからオンラインで市役所の人と話せます!

### 市役所の人に遠くから相談ができる『遠隔相談窓口』を取材!

遠隔相談窓口は、令和4年9月1日〜12月28日まで藍市民センターで利用できます。

市役所の人と画面越しに話すことができます。今年の2月に試しに置いてみて市民の人たちの感想を聞いたところ、便利だと評判がよかったです。

利用するためには市のホームページの予約サイトから内容や時間を選んで予約できます。

最後に遠隔相談窓口のリモートを体験させてもらいました。相手の声がよく聞こえて話しやすかったです。



▲画面に映るのは藍市民センターのスタッフさん。話しにお話してくれました。

### スマートシティでの楽しかったお仕事取材してみた!

スマートシティの楽しかったお仕事について係長の坂口さんに聞いてみました。坂口さんはいろいろな人との出会いがあり、夢

があると話していました。

企業や団体と連携して企画することが多いので、さまざまな人との出会いが多いとのこと。また市民の皆さまとの出会いも多くなってきたと言っていました。

秋には新しいアプリの企画があり10月に使えるようになるそうです。アプリの名前は「まち歩きアプリ」だそうです。完成が楽しみです。

### 生活に役立つ! アプリのこと聞いてみた!

「どんなアプリをつくってありますか?」  
「三田市で活用しているアプリはありますか?」

観光や防災のアプリを神戸大学と連携して作っています。防災アプリは、防災について学べるだけでなく自分が「備えたもの」や「避難場所」の情報も保存できます。また、昨年から公式LINEで三田市の情報も発信しています。



親子防災ノート



アプリおもしろい!



三田市公式LINE



### 私たちが1ページの記事を担当しました!



水垣記者・本射記者・貞方記者

#### みずがき 水垣記者・小5

◆とても暮らしが便利になる秘密がかわっていました。今年できた新しい課で、最初はあまり疑問がなかったけれど問題を考えるにつれ疑問が出てきました。取材をしてまたもう1度やりたいと思いました。

#### もとい 本射記者・小4

◆子ども記者プロジェクトに参加してよかったです。その理由は取材をしたことがなかったのでも楽しかったからです。三田市役所の中に初めて入りました。

#### さだかた 貞方記者・小5

◆いろんなことについてくわしくしゃれてよかったです。特に神戸大学と連携したアプリがあることに驚きました。また子ども記者をやりたいです。

### さらいけしつげん みりよく 血池湿原の魅力

血池湿原はいろんな種類の  
生き物がたくさん



めずらしい生き物があるよ!

ハッチョウトンボ

1円玉くらいの大きさ  
とてもめずらしい!



トキソウ



サギソウ



いっぱいの人が入ることはできないのが  
残念だけど



たくさんの自然があるっていいよね!



なんで自由に  
入れられないの?

めずらしい生き物を  
持って帰ったり、  
他の生き物を  
持ってこないように  
するため!

※毎年6月～8月の期間に  
見学会の募集をしています

三田市にはたくさんの野鳥  
がいます。里山にもいろん  
な鳥が住んでいます。



キッピー

キジは三田市のマス  
コットキャラクター  
「キッピー」のモチーフ  
にされた鳥です。里山  
にもたくさんいます!



#### やすだ 安田記者・小4

◆市役所ってどんなところか知らな  
かったけど街をよくするために働いて  
いたんだと知りました。いろいろなこ  
とが知れたので子ども記者プロジェ  
クトに参加してよかったです。

#### ほぞみ 細見記者・小5

◆最初は「うまくやっっていけるかな」っ  
と思っていましたが、話しているうち  
に楽しくなってきたので、よかったです。  
またやってみたいです。

#### ほんだ 本田記者・小5

◆すごく緊張したけど、子ども記者は  
楽しかったです。「みんなで楽しくや  
りたいな」と思っていたのが、本当に  
できてうれしかったです。



安田記者・細見記者・本田記者



# 生き物いっぱい! 三田の里山大調査

だいちょうさ

里山のまちづくり課の上田さんに三田の里  
山の事について聞きました。上田さんは市  
役所で28年働いており、地域の里山ボラン  
ティアさんと保全活動の整備をしたり、  
ソーラーパネルのルール作りをしています。

## 上田さんのお仕事は何? 木

上田さんはソーラーパネルのルール内容を  
作っています。いろいろなルールがあるので  
が、その中の一つを紹介します。

それは…ソーラーパネルを設置するのは許  
可が必要ということです。なぜかというと、勝手  
にどこでもソーラーパネルを設置すると、自然  
を破壊することになるか  
らです。皆さんも  
勝手にソー  
ラーパネルを  
設置しないで  
ください。



▲好きな食べ物は「お肉」だという上田  
さん。写真もたくさん見せてくれました。

## 三田の里山保全活動



まず最初に、里山とは山なのですが、  
普通の山と違って山のふもとに町や家  
がある山です。三田市は現在約66%が森  
林で、昔は生活に木を使うことが多くて、

はげ山になるくらい木を伐つていた  
けれど、今は木を使うことが減り、山  
に入る事もなくなってきたので「里  
山の環境が悪くなっている!」と思  
い里山保全を始めているそうです。  
昔は三田の里山に「高級なマツタ  
ケ」がたくさん生えていたそうです。  
そんなにいっぱいあったら売ればい  
いのにと私は思いますが、残念な  
がら今はまったく生えていないそう  
です。その理由は寄生虫や外来種が  
入ってきたからです。外来種を増や  
さないためには、入れない、捨てない、  
広げないの3つの約束を守ることが  
私たちにできることだそうです。皆  
さんも守ってください。

### 私たちが2ページの記事を担当しました!

# 安全第一! 北村さんと大脇さんに関して!

三田市民の大事な移動手段は車。ということで三田市役所にある交通まちづくり課の  
大脇さんと北村さんにお話を伺いました。

今日は、三田市役所交通まちづくり課の  
北村さんと大脇さんに取材をしました!

人と荷物を一緒にバスで運ぶ「貨客混載」。三田市の高平地区の一部路線では、野菜を人と一緒に運んでいます。畑のあるところから、バスを使ってまちなかの販売所(バスカル三田)に届けられます。貨客混載について聞きました。



令和2年に自動運転バスの実証実験が三田市ウッディタウンで行われました。三田市、兵庫県、国土交通省などが関わっていて、センサーにより自動で動くバスです。これにより運転手が減っているという問題を解決できます。ただ、どうやってお金を払ってもらうか、法律の整備などの問題がまだあります。

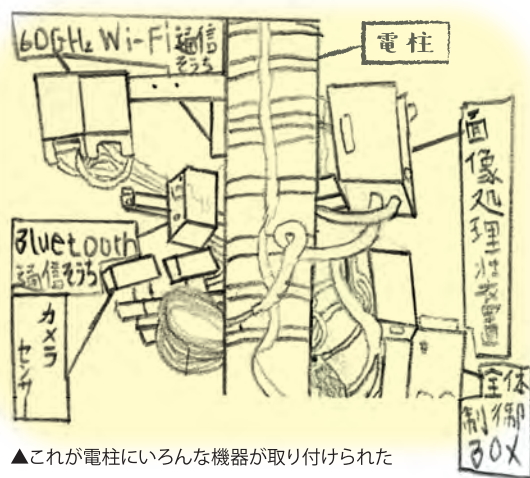
また、実証実験でバスに乗った人によると進んだり止まったりするときに「カクン」となって少しぎこちなく感じたとのこと。



自動運転バスの実現へ

——このサービスの途中で大切にしていることは何ですか?  
——野菜を作っている人、バスの会社、三田市などが協力することを大切にしています。  
——野菜と人以外にも組み合わせはありますか  
——全国ではケーキと人という例もあります。新幹線では新鮮な魚と人を乗せたり、飛行機に野菜と人を乗せたりしています。

——人何割、野菜何割で乗っているんでしょうか?  
——野菜は障がい者用の席を一部活用して、1割ほどのスペースです。



▲これが電柱にいろんな機器が取り付けられたスマートポールの様子。

また飛び出し事故防止のためにスマートポールがあります。これは電柱にいろんな機器がついていて、センサーで飛び出してくる人の情報をバスに教えてバスに注意をうながしたりします。

スマートポールの  
実証実験も

## お出かけサポート事業ってなに?

事前に予約すると、家の近くからバス停まで乗せてくれる「お出かけサポート事業」がはじまっています。



お出かけサポート「あいのり号」▶

——なぜお出かけサポート事業をはじめたのですか?  
——車を持っていない人たちの外出を助けるためにつくりました。  
——どのくらいお出かけサポート事業は利用されていますか?

——月に15~20人が利用されています。  
——誰が運転しているのですか?  
——地区の中の方が運転しています。なぜなら道をよく知っていたり、利用する方と仲が良いからです。

## 電動キックボードってなに?

新しい乗り物「電動キックボード」を三田市で活用できないか、実験をしました。



▲令和3年度に市役所の職員さんが実際に乗って、安全かどうか体験しました。

——電動キックボードは何キロ走りますか?  
——メーカーによって違いますが、1回の充電で約25キロ、時速は20キロ弱です。  
——電動キックボードにのった感想を教えてください。  
——市役所の職員に聞くと「スピードが出て楽しかった」「ゆっくりのところもあったので倒れそうだった」

などがありました。  
——免許はいりますか?  
——道路を走るときは免許がいります。公園などの道路以外の場所では乗れません。

## 私たちが3ページの記事を担当しました!



益田記者・田中記者・細田記者

### 益田記者・小5

◆普段行けない市役所に入れてとてもうれしかったです。電動キックボードやお出かけサポート事業の事を詳しく聞けて、とても楽しかったです。

### 田中記者・小6

◆自動運転バスは聞いたことがあったけど仕組みについては何も知らなかった。知れてよかったです。またスマートポールについてはその仕組みを思いつくと電柱に着けると言うことを考えられるのがすごいと思いました。

### 細田記者・小5

◆このイベントで一番楽しかったところは取材をするところでした。三田市役所に初めて行って、ワクワクしました。次回もできたら行きたいです。

# 三田のことを知ってもらうイベント

▶連節バスサンタバージョン



◀まち博に登場した連節バス

※三田市ホームページより

## 「サンタ×三田プロジェクト」について 秦さんにきいてみた



**Q** サンタ×三田をはじめたきっかけは？

**A** 三田を広く知ってもらうために、サンタと三田のゴロを合わせたことがきっかけでスタートしました。

**Q** 具体的に何をしますの？

**A** クリスマスコンサートやイルミネーション、オンラインフィンランドツアーでサンタさんに質問ができます。メインイベントの「のびのびスポーツフェスタ」には2,000人ほどが参加しました。

**Q** 参加費はいくらですか？

**A** 昨年のフィンランドツアーは500円です。ちなみにフィンランドツアーはオンラインなので、どこからでも参加できます。

**Q** サンタ×三田にキャラクターはいますか？

**A** キャラクターはいませんがロゴやサンタの恰好をしたキッピーはいます。



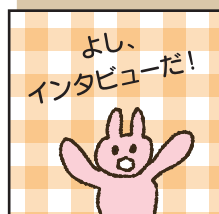
# 『まち博』

三田市では三田の街を知ってもらうため、昨年度から11月を中心にまち博を開催しています。まち博は三田でしかできないプログラムがたくさんあり、2021年は11個のプログラムを実施。子どもに1番人気だったのは「連節バスでGO！親子で社会科見学で君もバス博士に！」というプログラムでした。このプログラムは連節バス「オレンジアロー連SANDA」に乗り、制服を着て運転席に座れるという運転手の気持ちになれるプログラムです。バスに興味がある人はぜひ参加してみてください。

三田にはいろいろなイベントがあるよ！  
三田市の色々なイベントを企画する「まちのブランド観光課」  
そこで仕事をしている丸本さんと秦さんに3つのイベントについて聞いてみました。

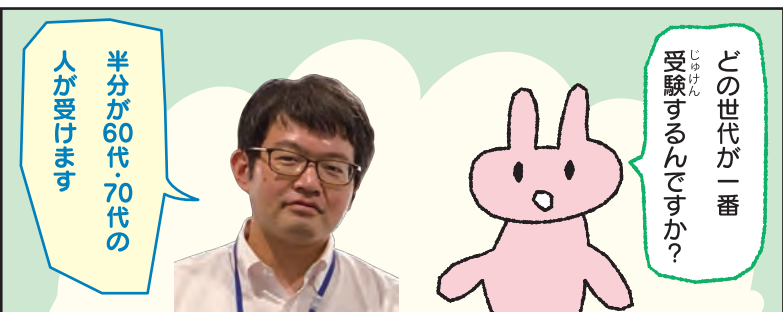
SANDA

日本人で初めてビールづくりに取り組んだ昔の学者・川本幸民さん。なんと三田市出身ということで実施されているのが「三田ビール検定」です。昨年はコロナで中止になりましたが、昨年は約150人の人が受験し、今年には240人を目標にしているそうです。



どの世代が一番受験するんですか？

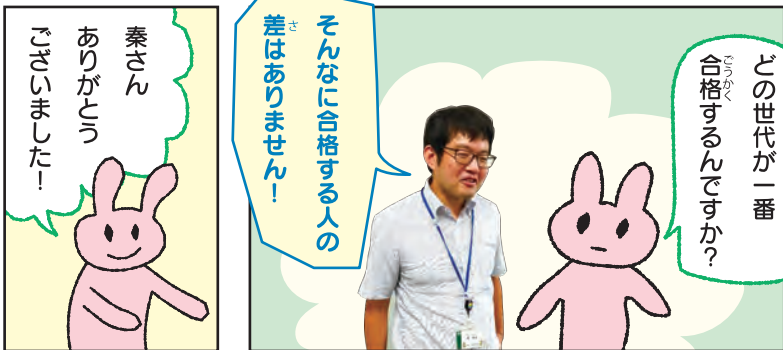
半分以上が60代・70代の方が受けます



どの世代が一番合格するんですか？

そんなに合格する人の差はありません！

秦さんありがとうございます！



## 私たちが4ページの記事を担当しました！



井口記者・阿部記者・後藤記者

### いのかち 井口記者・小4

◆意外とビール検定を受けている人が多かったのがびっくりしました。見たことのない課もあったので見れてよかったです。

### あべ 阿部記者・小5

◆チームのみんなとも仲良くできたしいつもは入れない仕事場にも行けたのでよかったです。取材するのも楽しかったです。

### ごとう 後藤記者・小4

◆三田市役所の中の仕事場を詳しく見れてよかったです。市長さんに来てもらったのがうれしかったです。